

1 共通項目

区分			フェニックスリーダー 基礎科目			フェニックスリーダー 共通コースワーク			フェニックスリーダー 専門科目							フィールドワーク/ インターンシップ			
担当コース			災害医療	環境保全	社会復興	災害医療	環境保全	社会復興	災害医療	環境保全	社会復興	学位審査 委員会・教 育委員会	各コース	フィールドワーク実施委 員会・キャリアパス委員 会					
開設年次			1			1			1							4	1	1	2又は3
担当責任者			松浦伸也	奥田敏統	神谷研二	田中純子	静間 清	坂田桐子	廣橋伸之	松浦伸也	遠藤 暁	中島 覚	杉浦義典	西村雄郎	松浦伸也	—	松浦伸也	松浦伸也	
開設単位			2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	4又は6	1	3	
NO	Learning Goals 学修目標	Learning Objectives 基礎到達目標	放射線生 物学入門	環境科学 入門(生物 多様性科 学)	ヒロシマ復 興史	初期被ば く・内部被 ばく・疫学 演習	放射線計 測演習	Business Continuity Managemen t(BCM)	放射線災 害医療学	ゲノム障 害科学	放射線物 理学	放射線反 応化学	適応行動 論	コミュニテ ィー論	放射線災 害復興学	各主任指 導教員が 指定する 科目	短期フィー ルドワーク	長期フィー ルドワーク ／長期イ ンターシ ップ	
1	C1-1	国際力:国際 社会でリー ダーシップを 発揮すること ができる	外国語を用いて論文を作成できる						○						○		○		
	C1-2		外国語を用いて討論ができる		○			○	○						○		○		
	C1-3		外国語を用いて業務を行える		○		○											○	
	C1-4		国際的な集団の中で、目的を達成する ために必要な判断・調整ができる		○			○									○	○	
2	C2-1	マネジメント 力:状況を科 学的に捉 え、より良い 状況に向け て合意形成 を導くこと ができる	人類社会が直面する課題や、集団が 抱える問題点を理解できる			○									○		○	○	
	C2-2		正確な知識と高い倫理観に基づき、課 題について対策を提案することができる												○			○	
	C2-3		個や集団のストレスをコントロールし、 個や集団が的確な方向へ進めるよう にマネジメントできる					○									○	○	
	C2-4		原爆からの復興を果たした広島大学 の経験に基づき、放射線災害復興の ために自らが果たすべき役割を明確に し遂行できる			○													
3	C3-1	学際力:専門 分化した知 識の全体を 俯瞰し、必 要に応じて 活用すること ができる	専門分野を超えた知識や技術を活用 し、独創的な研究を立案・展開できる		○		○			○		○			○			○	
	C3-2		放射線災害に伴う多様なリスクを総合 的な視点から理解し、的確な対応策を 提言できる			○	○		○						○				
	C3-3		放射線生物学の基礎を理解でき、人 体への影響を評価できる	○								○					○		
	C3-4		放射性物質と放射線の基礎を理解で き、各種放射線測定器を使用し、環境 中の放射性物質の動態を評価するこ とができる				○	○									○		
	C3-5		放射線災害時における個や集団への ストレスを把握でき、解決方法を提示 できる			○							○				○		



### 3 放射能環境保全コース

区分		フェニックスリーダー 基礎科目			フェニックスリーダー 共通コースワーク			フェニックスリーダー 専門科目					フィールドワーク/ インターンシップ					
担当コース		災害医療	環境保全	社会復興	災害医療	環境保全	社会復興	災害医療	環境保全		社会復興		学位審査 委員会・教 育委員会	各コース	フィールドワーク実施委員 会・キャリアパス委員会			
開設年次		1			1			1					4	1	1	3		
担当責任者		松浦伸也	奥田敏統	神谷研二	田中純子	静間 清	坂田桐子	廣橋伸之	遠藤 暁	中島 覚	杉浦義典	西村雄郎	松浦伸也	—	松浦伸也	松浦伸也		
要修得単位数		2	2	2	2	2	2	2	2	2	2		2	6	1	3		
NO	Learning Goals 学修目標	Learning Objectives 基礎到達目標		放射線生 物学入門	環境科学 入門(生物 多様性科 学)	ヒロシマ復 興史	初期被ば く・内部被 ばく・疫学 演習	放射線計 測演習	Business Continuity Managemen t(BCM)	放射線災 害医療学	放射線物 理学	放射線反 応化学	適応行動 論	コミュニテ ー論	放射線災 害復興学	各主任指 導教員が 指定する科 目	短期フィ ールドワー ク	長期フィ ールドワー ク /長期イン ターンシッ プ
	4	E4-1	原発事故、核テロ及び放射線事故における核分裂反応生成物の性質を科学的に解析できる	原発事故、核テロ、放射線事故に至る経緯について理解でき、安全管理のポイントが把握できる			○				○	○						
E4-2		原子炉の原理、構造、核燃料サイクルを理解できる	原子炉の原理、構造、核燃料サイクルを理解できる								○							
E4-3		原子核の構造と安定性、放射線の発生、核分裂反応について理解できる	原子核の構造と安定性、放射線の発生、核分裂反応について理解できる								○	○						
5	E5-1	放射線計測の各種分析機器の測定原理を理解できる	放射線計測の各種分析機器の測定原理を理解できる					○			○	○						
	E5-2	放射線計測の核種分析機器の分析方法と計測方法を理解して測定でき、結果を解析し、外部被ばくと内部被ばくの解析と評価ができる	放射線計測の核種分析機器の分析方法と計測方法を理解して測定でき、結果を解析し、外部被ばくと内部被ばくの解析と評価ができる				○	○			○						○	
	E5-3	放射線計測の核種分析機器の分析方法と計測方法を理解して測定でき、結果を解析し、外部被ばくと内部被ばくの解析と評価ができる	放射線計測の核種分析機器の分析方法と計測方法を理解して測定でき、結果を解析し、外部被ばくと内部被ばくの解析と評価ができる				○	○			○							
6	E6-1	放射線計測の核種分析機器の分析方法と計測方法を理解して測定でき、結果を解析し、外部被ばくと内部被ばくの解析と評価ができる	大気中、土壌中、海洋中での放射性物質の移行・挙動が理解できる		○			○			○							
	E6-2	大気・土壌・海洋から動物・植物への放射性物質の移行を理解でき、動物・植物中の放射性物質の挙動を理解できる	大気・土壌・海洋から動物・植物への放射性物質の移行を理解でき、動物・植物中の放射性物質の挙動を理解できる		○			○				○						
	E6-3	食品中の放射性物質汚染について理解でき、食品からの内部被ばくを評価できる	食品中の放射性物質汚染について理解でき、食品からの内部被ばくを評価できる					○				○						
7	E7-1	放射性廃棄物の適切な処理について理解できる	放射性廃棄物の適切な処理について理解できる					○										
	E7-2	放射性廃棄物の適切な保管について理解できる	放射性廃棄物の適切な保管について理解できる								○							
	E7-3	放射性物質の除染について理解できる	放射性物質の除染について理解できる					○				○						

